

出来ぬと云ふ様な堅固な道徳を有して居るものでなければならぬ、世の母親たるもの、希くは一段の奮發を以て此の如き完全なる發達を有する理想の子供を得られんことを。是れ決して吾輩一人の希望のみではない。實に國家社會の一大要求である。恐くは本誌を愛讀せらるゝ會員並に讀者諸君の要求と雖も之に反對せらるゝものはなからう。職に幼児教育に關係せらるゝ方々は常に此心を持つて幼児に對すると共に又常に此心を以て世の母親たるものに説き聞かせて。我國の幼児教育をして益々美ならしむると共に一層合理的に完全なるものたらしめんことに盡力あらんことを希望に絶えぬ。

久かたの月の桂も折るばかり

家の風をも吹かせてしかな

(道真母)

## 早蕨幼稚園の保育

早蕨幼稚園長 久留島武彦

私は、子供と云ふ者を研究するに參考として、子供の自由遊戯所と云ふやうなものをもつて見たいと云ふ望みで、此の園を開きました、そして、その遊んで居るのを見て、その特質を知り、如何に子供に話すべきか、如何に子供と楽しむ事が出来るかと云ふ事を実験する、申せば此の園は研究所で御座います。けれども、私の研究所は、他の児童心理を學問として研究せらるゝ方々の如き意味の研究所ではありませぬ。私に此の園をもたせてくれた人の考も、私の目的も、以上の如きであります。それで、保育上の意見と申しましても、白狀すれば、悪しからぬ方面に保育するといふことが、自分の責任と心得て居るばかりです。

保育實施の方針

けれども、そればかりでは、世間へ對して相すみ

ませぬ。それで、悪しからぬ方面に保育すると同時に、善き方面にも保育したいと思ふて居ります。それで、順序として、最も確實なる素養ありと認めらるゝ、お茶の水の保姆養成所を出られた方をお頼みして、一切をお任せしてあります。私は、保姆の方に申して居ります。あなたが善いと認めたる事は遠慮なく實行して下さいと、そして玩具の買入れ、運動具の買入れ、凡べて保姆に一任してあります。

世間の幼稚園を見ますと、保育の要項に縛られて居る保姆が多いやうに思ひます。今の流行語で云へば、恩物に捕はれたる保姆が多いやうに思ひます。殆んど豫案と云ふものに由つて終始して、兒童そのものに由つて終始することがないやうに思ひます。たとへば、土曜日には、豆細工と定めてあれば、子供が好まうが好むまいが豆細工をする、その次ぎは唱歌なら唱歌と云ふ如き類です。しかし、私は、さう云ふ事は何となく面白く感じ

ないから、自分の幼稚園は、必要と認める限りは、恩物も玩具も準備しましたけれども、それを引き渡す時に、保姆にお願ひしました。以上の如き私の考へであるから、恩物に捕へられずにやつていたいきたい、そして保姆は、如何なる考へで、子供を扱つて居るか、と、參觀者から思はれる位、自由な態度で、子供に觸接してもらひたい、そして、なるべく室内よりも戸外、戸外よりも郊外に連れていつて下さいと。

要するに、私は、恩物にも、保姆にも捕へられざる、自由なる保育方法を研究したいと思ふて居ります。また研究中ですから、如何なる方法が、そのベストであるかと云ふ事は、お話し出来ませぬ。只、音楽と遊戯の調和、これは、自分が進んで實行したいと思ふて居る事でありませぬ。一體、日本の家庭は、音楽趣味が少ないと思ひます。そして、子供は歌はない動物かと云ふに、決してさうでありませぬ。子供ほど歌ふ動物はあり

ませぬ。子供ほど躍る動物はありませぬ。少し機嫌がよくなると、直に言葉が旋律的になり、動作が舞踏的になります。活き々々した子供ほどさうであります。これを、つとめてよく導き、つとめて、よく活かしめたならば、よほど大なる教育の基礎を入れるものでないかと思ふて居ります。

子供の如く楽しく、子供の如く愉快に、無遠慮に躍りまわると云ふ事は大人にはよほどむづかしい事でありませぬ。たまに、之れをなし得る保姆があつても、それは、あまり仰山だとか、今少し静に保育することは出来まいかと云ふやうな批評を受けます。これは甚だ遺憾なことと思ふて居ります。故に、私の幼稚園では、保姆に、小鳥の如く楽しく歌ひ、小犬の如く楽しく遊ぶことを望んで居ります。私は、楽しく愉快にと云ふことは保育の最も大切な要件と思ふて居ります。

現在の實行

それで、私の幼稚園の保姆には、かう云ふ事を申

して居ります。もし不愉快なことがありましたなら、遅刻をしてもよいから、園の門をくいるまでに、不愉快の原因を取り除いて来て下さい。園の門をくいる時には、愉快に笑ふて居てもらひたいと。

それから、今一方の方面から云ふと、兒童は、各機能の發育が不具的であります。たとへば、胸體がむやみにのびるとか、體量がむやみにふえるとかが、想像力が大層發達するとか云ふやうな風です。それで、身體の注意と云ふことに殊に重きを置きたいと思ふて居ります。それで特に小兒科専門の醫者に頼んで、一週に一度づつ、健康診断をして貰つて居ります。それから、毎月一回づつ、細密なる體格検査をやつて居ります。園の者の注意としては、必ず毎朝子供が園に來たならば、子供の額に手をあて、熱がありはせぬか、どうか見ます。(時として、家庭の不注意で、發熱の子供をよこすことがありますから)一日に二三度はかう云ふ風

に注意して居ります。  
 されば、私は、只今の處、まづ子供は、怪我をせず  
 に丈夫に元氣で遊んでくれるならば、能事終れ  
 りと思つて居ります。

園長として考へますことは、私が如何に以上の如  
 き考で居ても、保母がその考になつてくれなければ  
 仕方がない。また、保母が如何に善い意見を持  
 つて居ても、園長がそれを飲み込まねば到底實行  
 せらるゝものでないといふ事です。園長と、保母  
 とが研究して、多數の意見のまとまつたものが、  
 保育の方針として實行せらるゝと云ふ事にならね  
 ばならぬと考へます。それで、保母は、つとめて  
 園長を教育する、園長は、つとめて保母の意見を  
 聞くといふ事にしたと思ふて居ります。

(文責記者)

腕白が先づ手のひらに筆始め(一茶)

## 關西の保育界を見る(承前)

和田 實

前々號に於て予は關西幼稚園參觀記を物して其第  
 一日を終つて置いた。それで前號に於ては其第二  
 日を掲げる心組で居つた所が公務殊の外に多忙な  
 のと家庭に病人などがあつたので、心ならずも執  
 筆しなかつた。併し、忙しいのと暇のないのとは  
 歌に唱つて居た所で誰れも暇を呉れる人もないか  
 ら本號には奮發して簡單に其第二日を叙して以て  
 兎も角も此項の終つしようと思ふ。叙述が頗る乾  
 燥で面白味のないのには讀者諸君も定めし物足ら  
 ず御思召さるゝであらうが今回は是で御免蒙ると  
 しませう。

楮て予が參觀第二日目の朝は數日來の疲勞で思は  
 ぬ朝寢をして午前八時漸く寓所を飛び出した電車  
 を驅つて梅田に行きそれより阪神電鐵に因て神戸  
 にと向うた。目的は本邦幼稚園界の恩人エ、エル、